

**Amir Tsarfati 氏 スペシャルアップデート 2017年 11月 20日公開**  
**クロアチア・ザグレブより**

.....  
クロアチアのザグレブより、シャローム。アミール・ツアルファティです。あと2分でライブアップデートを始めますが、その前に、接続が上手く出来ているか、皆さんの方から見えているか、確認しています。こちらの時間で昨夜、アメリカは朝でしたが、ライブ配信をする予定でしたが、残念ながら技術的な問題で、延期にしました。それと、本音を言えば、一日の講演を終えた後だったのと、長旅で疲れていましたので、技術的な問題があると分かった時には、修復せずに早めに寝ることにしたのです。ですから、残念ながら昨日は出来ませんでした。今回は大丈夫です。ぐっすり眠れましたし、ここに戻れたことを嬉しく思います。とても祝福された週末を過ごして、これから家に帰ります。帰宅後は、家族に会えるだけでなく、弟の結婚式もあって、家族としてワクワクする時間です。

では、アップデートを始めましょう。長くはなりません。大きな出来事を短くお伝えします。トランプの中東担当チームが、間もなく提示する予定の和平案についてです。

ということで、クロアチアのザグレブより、シャローム。おはようございます。アミール・ツアルファティです。後数時間で空港に向かい、それからイスラエルに戻ります。その後は、2018年最初の海外講演で、1月中旬にフィリピンに行く時まで、イスラエルにいます。では、お祈りをして、アップデートを始めましょう。

お父様、ありがとうございます。

私は個人的に、熟睡してスッキリ出来たことに感謝します。

そしてお父様、この配信を通して、あなたの御名があがめられますように。ただの情報や憶測を語るのではなく、私たちが大きな期待をもって希望を見上げ、握りしめることが出来ますように。最も大切な希望、間もなくあなたのもとに集められ、あなたと共にいることです。私たちが至るところで目にしているしるしに感謝します。私たちは、世界中で起こっていることに恐れるのではなく、それによってあなたの来られる日がどれほど近いかを悟ります。私たちに与えてくださった約束に感謝します。私たちの体の救い、体の贖いがとても近いことに感謝します。今朝、クロアチアのザグレブより、あなたの御名を祝福します。また、世界中であなたの子どもたちが、あなたの御名を祝福しますように。イエスの御名によって、お祈りします。アーメン。

アーメン！皆さん、シャローム！今私は、クロアチアのザグレブにいます。今回は、この週末、ずっと語られていることについて、アップデートをします。アメリカの皆さんにとってはまだ週末ですが、世界の殆どの場所ではすでに週末は終わりました。その前に、皆

さんに2つの事をお勧めしたいと思います。

- ① 見張り人としての皆さんの立場を忘れないで、フェイスブックで何らかのコメントをされる時は、あなたが見張り人である事、それから、どこの見張り人なのかを教えてください。後になって、このアップデートを皆さんがどこでご覧になっているのかを調べるのに、とても助かるのです。時々、コメントだけでなく、真摯に質問されていることがあって、それがどこの誰なのかを、私たちは確認しておきたいのです。ですから、「Watchman from 市、国」を書いてくださると、とても助かります。
- ② 私たちのアカウントに見せかけている、偽のユーチューブアカウントが複数あることが分かっています。とても残念なことです。これに対しては私たちに出来る手立てはありません。誰でも、好きなように名乗れますからね。ですから、「Behold Israel/ビホールドイスラエル」以外で、私のメッセージを載せている所は、ご覧にならないようにお願いします。前にも言いましたが、彼らは私のメッセージの日付を変更し、メッセージを編集して再投稿しています。これは、良くありません。ですから、「Behold Israel/ビホールドイスラエル」を訪れて、ご登録ください。それが一番簡単な方法だと思います。そうすれば、私がライブをするたびに、ユーチューブにも投稿しますから、皆さんにも分かります。

次に、クロアチア訪問について短くご報告しますと、本当に素晴らしかったです。クロアチアは小さな国で、ここの人口はイスラエルよりも少数（書記注:4,416,000人。イスラエルは8,157,300人）、更にクリスチャンの数は、イスラエルよりも少数です。だから私は、ここに来て福音を伝える必要性を強く感じるのです。それと同時に、現在起こっていることを伝えて、聖徒達を備えさせる必要もです。これは、北部のアドリア海のリゾート地にある、プーラという小さな町で昨年始まって、続いて今年は首都ザグレブとカルロヴァツ、そしてプーラで行いました。来年は、御心ならば、首都で全国カンファレンスを行います。今回、実に多くの人々が参加されて、大勢が関心を持っていることが分かりました。ウィーンや、スロヴェニア共和国や、他の国や地域からも人々が訪れて、ヨーロッパでは物凄い飢え渴きが起こっているのです。ヨーロッパは霊的に死んでいます。しかし、神がここに残された人たちがいて、その人たちの中に、神の御言葉と、神が世界中でなされている事に対して、非常な飢え渴きがあります。彼らは、それを聴くために、何時間もかけて運転してやって来ます。物凄いことです。さらに新たに扉が開かれて、来年はオーストリアや、スロヴェニア、ルーマニアのブカレストも訪れます。あちらにも大勢の聖徒がいて、私は本当にワクワクしています。とても楽しみです。また、ミニストリーが大きく受け入れられただけでなく、かなりの数の人が講演のメッセージを通して、キリストを受け入れました。最終的には、それが最も重要なことだと思うのです。礼拝が終わった後で、人々が残って泣いたり、悔い改めて、人生が変えられる様子を目の前で見ていると、本当に感激します。それから、私がここにいる間に、神が二つのメッセージを与えてください

ました。一つは、「競争を走る」。競争を走るとは、どういうことか。パウロは、それについて様々な場面で8回語っています。恐らく彼は、ローマやアテネ、海辺のカイザリアにいた時に、この、競争を走るという考えに至ったのだと思いますが、競争を走るとはどういう事か？私たちはどう走るべきで、どう走らないべきなのか？私たちは、虚しく走るなどということができるのか？ゴールは何か？褒美は何か？私たちが知るべきことがたくさんあります。そこで、このメッセージをまとめて、昨日プーラでの第一講演で少しお話ししました。新しいメッセージは、フィリピンに行った時に、あちらの撮影班が動画を撮影してくれますので、それをユーチューブに投稿します。もう一つのメッセージは、ここで私が尋ねられた事ですが、「ユダヤ人はメシアをどのように見ているのか？」明らかに、ユダヤ人の99%は、イエスをメシアとして受け入れていません。では、彼らは何を待っているのか？彼らにとって、メシアの基準とは何なのか？彼らがイエスを受け入れなかったのは、何故なのか？覚えておいてください。彼らにとって、イエスがメシアであることは、一切問題ありませんでした。彼らには、イエスに関して別の問題があったのです。私が現在まとめている新しいメッセージは、神の御心ならば全部フィリピンでお話して、後ほど投稿することになるでしょう。とてもワクワクする時代、物凄い時代です。世界中で現在起きていることの全てに、私はワクワクしています。もちろん、攻撃は至るところからやって来ます。個人的にも、これまで以上に感じています。しかし、攻撃されるという事は、正しいことを行っている証拠ですから、私は怖気づいたりしませんし、皆さんのお祈りに感謝しています。

次に、多くの人や聖書教師、コメンテーター、預言教師らが、ずっと語り考えて来た事について。つまり、ドナルド・トランプが、イスラエルの平和に関してどう考えているのか、彼が交渉の場に持って行こうとしているものとは何なのか、彼はどのようにしてイスラエルを、パレスチナやその他の窮状に持ち込もうとしているのか。私は初日から、「今回は全く新しい大統領、全く新しい巧言だ」と言って、トランプを庇ってきましたが、国務省が何十年と言ってきたことと正反対のことを言うのは、恐らく彼が初めてでしょう。しかし、忘れてはならない事があります。もちろん、これまでの他の大統領同様に、戦争よりも平和をあな地域にもたらず方が、大国アメリカ合衆国にとっては利益があるのです。ですから、イスラエル・パレスチナ対立は——私から見れば、これは対立ではありませんがね。パレスチナ国なんてありません。彼らはこれまで国家を持ったことなど、一度もありませんでしたから。しかし、ともかく地域としては、最終的に戦争を起こすため、特にエルサレムが中心となるためには、何かが必要なのです。私たちが見てきた通り、この4年間、中東ではイスラエル・パレスチナ対立とは全く関係のない紛争が続いています。ここ3、4年間の中東での犠牲者のほとんどはパレスチナ人ではなく、全てが中東のアラブ人イスラム教徒によって殺された、アラブ人イスラム教徒です。紛争は、私たちとは全く関係がないのです。それでも、何らかの形でイスラエルを終わらせようと、世界が憑りつかれてい

て、ある意味トロフィーのようなものになっています。イスラエルとパレスチナの間に平和をもたらすと、最終的に世界の指導者になれる。これが、最終的に反キリストの思想だと、私は思っています。

ともかく、皆さんの理解のために、ここ数日の間に起こっていることについて、まずはお話ししましょう。4日ほど前に、サウジのオンライン新聞が、イスラエルの首席補佐官、イスラエル軍のトップのインタビュー記事を掲載しました。これまで、絶対に海外のインタビューに答えたことのなかった、イスラエル“軍”のトップ、Gadi Eizenkot 少佐が初めて答えた海外のマスコミ、サウジのオンライン新聞です。そこで、彼が言っていることを聞いてください。そのインタビューの中で、アイゼンコット少佐は次のように述べています。

「イスラエルは、サウジを助ける意思があるだけでなく、イラン問題に関して、サウジと諜報を共有する。我々には、共通の問題があるためだ。それは、イランの拡大だ。」

皆さん、理解しなければなりません。イランは、イスラエルを脅しているだけでなく、サウジにとってはさらに脅威です。サウジはハードディスク——頭の中の全てを変更したのです。新しい皇太子は——ところで、数日のうちに彼はサウジの新しい“王”として発表されます。サウジアラビア国内で明らかになりつつある秘密の計画があり、サルマーン国王が退却し、彼の32歳の息子であるムハンマド・ビン・サルマーンが王になるというものです。サウジアラビアでは最年少の王、32歳です。彼の父親は、イスラム聖地の管理者として形式的には残りますが、それだけです。ここで理解する点は、彼が王になればそれまでだ、ということです。アラブの大国として、完全にギアチェンジして、イスラエル側に移行するのです。これが興味深いのは、エゼキエル38章に出て来るシェバとデダン(13節)は、ロシアがイスラエルを攻撃することを非難しますが、彼らは、この非難する者たちを率いる勢力として描写されているのです。つまり、

### 13 シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは…

(エゼキエル 38:13)

言い換えれば、ヨーロッパやアメリカは、その動きに対するサウジの断固とした批判の背後に隠れるということです。だから、このことに私たちが驚くべきではありません。ここ数か月の間に、イスラエル—パレスチナ間の“究極の協議”をまとめるために、トランプが結成したチームは、イスラエルやパレスチナの領土よりも、サウジのリヤドの方に多く訪れているのです。つまり、現在我々が目にしているのは、両者に提示される新しい和平協議は、アメリカだけでなく、サウジアラビアも先鋒である、ということです。サウジとアメリカが和平協議において協力し合っているのです。というと、皆さん恐らく思うでしょう。

「どうしてサウジがこれに関わるのか？」

サウジがそのツケを支払うことになる。それがポイントです。考え方としては、次の通り

です。和平協議は、これまで提示されて来たものとは全く別物です。確かに「パレスチナ国」という名前が付いています。しかし、事実上、西岸のどの場所、どの家からもユダヤ人が退去させられることはありません。さらに我々はヨルダン渓谷をパレスチナ国土の一部とさえ見なしていません。そして、イスラエルの安全に関わることに對しては、「パレスチナは軍を所有しない」といったように、一切妥協していません。つまり、どちらかといえば、“国”として形式的なものであり、両者がパレスチナに持ちかけるのは、「あなたがたに大量の資金を与える」というものです。

「あなたがたに、何十億ドルという資金を与えて、我々が投資しよう。そうすれば、あなたがたは自分たちで掘った穴から、ようやく抜け出すことができるのだ」

「そうすれば、あなたがたも人生が良くなり、繁栄するのを目にするだろう。大事なものは、あちこちに兵士を置く事ではなく、人生を生き、子どもたちを教育することだ」

と、協議はこんな感じでした。パレスチナは、国を提示されますが、その国とは、ユダヤ人が一掃された国ではなく、ユダヤ人が住んでいない場所にさらに多くの国土を与える、国土を交換して書類上は彼らが要求したのと同じサイズの国土を、別の場所に与えよう、というものです。その代わり、我々はあなたがたに膨大な資金を与え、経済的に発展させ、あなたがたの子どもたちの教育を推進する等協力しよう、と。ただ、明確にしておく、これはサウジとアメリカの提案であって、間違いなく全員がそれを退けるでしょう。全員です。興味深いのは、それがさらに事態をエスカレートさせる可能性があるのです。なぜなら、パレスチナは、現在大きな資金提供源であるサウジと、現在はまだ自由世界の指導者であるアメリカが、実際に自分たちの味方ではなく、ユダヤ人を西岸から追放してくれないなら、自分たちは立場を変えなければならない、と決断を迫られることになるからです。イランは、ハマスの資金提供し、武装させて、新たな暴力によってそれを拒絶するよう押しています。だから、サウジのイスラム指導者、イスラムの聖職者の最も高い地位にいる者が、今年の7月にこう言っています。

「まず第一に、次のことを宣言するために私はここに来た。

ムスリムはユダヤ人を殺してはならない。」

それから彼は言ったのです。

「ハマスはテロ組織であり、ヒズボラを根絶しなければならない。」

見てください！サウジが言及しているのです。

「ユダヤ人を殺すな」それから

「イスラムの敵は、イスラムの中にいる。」

テヘラン（イラン）の代理である、シーア派のヒズボラとハマスは、和解のふりをしていますが、実際にはまだイランの支援を受けています。このようにパレスチナは、いつもスンニ派、シーア派両方から利用されていて、それがこの全体図の中で残念な点です。

次に、何故ネタニヤフ首相は、イスラエル軍の司令官である首席補佐官がサウジの新聞の

インタビューに答えることを認めたのでしょうか？さらには、イスラエルはイランに関して、諜報をサウジと共有する、と彼が言うことを認めたのか？それはもちろん、ネタニヤフはとても利口だからです。ネタニヤフは、周辺で起こっていることを探知し、アメリカはサウジのリヤドを他の誰よりも信頼していると気づいたからです。だから、得点を稼ぎ、味方につけるためには、——アメリカだけに限らずです。アメリカがすでに味方であることは明らかですから。そうではなく、サウジに対して、イランと戦うことに関して、我々は彼らを助ける意思があることを、公に宣言した方が良く、と彼は分かっているのです。明確にしておく、イスラエルは少なくともここ2年の間、サウジと内密に交渉および情報交換を行っていました。トランプが当選してからは、さらにそうです。しかし、全ては秘密裏の内に行われていました。しかし今回、初めて公に告知されました。イスラエル高官のトップ、首席補佐官からサウジのオンライン新聞に対して、です。ちなみに、これはオンラインですから、簡単に破棄出来る紙切れとは違って、取り下げることが出来ません。ですから、これはイスラエルから世界に対する宣言です。

「我々は、イランに目を向けており、必要なことはどんな事でもする。情報も共有する。」と。ところで、いよいよとなった時、肝心な時には、イスラエルはいずれ孤立して戦う事になることも、我々は理解しています。全状況の中で、我々はそれを理解しています。誰かが来て、シリアのイラン駐留から我々を救い出してくれるなんていう事は、一切期待できません。我々は、自分たちで戦わなければなりません。誰かが来て、迫り来るロシアの手から、我々を守ってくれるなどと、一切期待は出来ません。エゼキエルは、実に明確に記しています。誰一人として助けに来ません。だから、我々はここでイスラエル軍と政府の思想を理解しています。しかし、興味深いのは、将来的なイランによる侵略や、ロシアによる将来的な侵略については、我々はもはや語っていないのです。現在、我々が語っているのは、彼らが既にここにいて、そして、シェバとデダンが、この事態を批判する側に動いた事についてです。サウジアラビアが、この問題を先導している様子を、我々は今、目撃しています。そして、大きな預言が成就されつつあるのを、今、目にしているのです。いろいろな人から、私はサウジアラビアが好きなのかと聞かれますが、全然です。全く好きではありません。彼らは、テロ組織へ資金援助している巨大勢力の何ものでもありませんから。しかし、何かが変わりつつあると私は思います。彼らの中で変わりつつあるのは、彼らがイスラエルを愛するようになったのとは違います。しかし、彼らが現在地図を見て、自分たちがイランと効果的に戦うには、イスラエルの側に付く方が良くということを理解しているのです。だから、私はサウジが大好きではありませんし、これまで好きだったことは一度もありません。彼らが潔白であるとは思いませんし、ただ、彼らが正しく地図を理解した、と思うだけです。そして、聖書が究極の地図だ、と私は信じています。彼らが聖書を知っているとは、私は思いません。ただ、彼らは世界中で起こっていることを理解している、と私は思います。だから、彼らは我々の所へ来たのです。世は、聖書を知りません。だから、世は何としてでも闘争に向けて、自分たちを備えているのです。私たち信

者は聖書を知っています。そして私たちは、戦争に対してではなく、私たちの出発に向けて、何としてでも自分たちを備えなければなりません。これが良い知らせです。良い知らせとは、神が与えてくださったこの書（聖書）で、この中にはあらゆる約束が書かれています。

①我々は我慢と忍耐をもって競争を走らなければなりません。

②私たちは、私たちにある希望を覚えて、この競争を走る時、常に目を、この世のものには向けず、聖書にあるように、天にあるものに向けなければなりません。

私たちの信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないのです（ヘブル 12:2 参照）。聖書には、私たちの前にあるゴールについて伝えています。そのゴールとは、イエスです。彼は、どこにおられますか？（上を指さして）あちらです。あちらが、私たちの到着地です。世界は、なんとかここで生き残ろうと必死になっている時に、私たちはどうにかして、ではなく、確実にあちらに行くように、一生懸命備えをするのです。私たちがこれを理解しておくことは、超重要なのです。

マクロンは、100ヶ国以上の指導者たちを召喚しています。パリで再び、気候変動に関する会議を開催するためです。そこで憶測されているのは、彼はトランプを招待自体するのだろうか？という事です。またしても、気候変動のトリックが利用されています。私は昨日の朝4時に目が覚めて考えていたのですが、もし、私たちには、ここにおらず、ここを出て行くという希望があるなら、他の人たちはどうなんだろうか？彼らには、その希望はありません。彼らには、この祝福された希望はありません。だから彼らは、何としてでも“地球”という惑星を守らないといけない、と本気で思うのです。彼らは、残りの人生をそこで過ごすのですから。グローバリストの人たちの事を考えてみてください。実業家や、銀行など、世界統一政府を推し進めている、小さな企業連合。彼らは、世界統一政府がずっと続くことを望んでいるのです。彼らは、この世を支配したいのです。彼らは、新しい天、新しい地については考えません。彼らは、千年王国については考えません。キリストの再臨の時、全被造物がどれほど安堵するか、彼らは考えません。彼らはそういった事は考えていません。彼らが考えているのは、自分たちがこの世を永遠に支配することです。だから、彼らの思考の中で、彼らが自分たちを欺いているのではなく、サタンが彼らを欺いているのです。彼らが、この嘘を信じましたが、気候変動が本当の問題であると考え、彼らの信念を軽く見てはいけません。彼らは、完全に思い込んでいるのです。彼らはすっかり説き伏せられているのです。彼らは、完全に憑りつかれているのです。彼らには、ここを出て行くという希望がないのですから。ここが、彼らが永遠に留まる場所なのです。彼らには、新天新地の希望はないのです。彼らは、私たちが理解しているようには、未来を理解していないのです。だから彼らは、絶えず必死で動いているのです。どうにかしてこの世の人生をさらに快適に、さらに緑に、さらに清く、さらに良くしようと必死なのです。ヨーロッパが緑を推進した時、——ヨーロッパは“緑”を推進した最初の大陸だったので

す。しかし、緑にする中に、世に子どもたちを送り出す事は含まれませんでした。ヨーロッパは自ら、文字通り自滅寸前レベルまで人口減少させたのです。

とても興味深いのは、数日前に、イスラエルの人口について掲載された記事で、イスラエルの人口は増加しているのです。どんどん子どもの数が増え、各家庭の子どもの数の平均は3人、ヨーロッパでは平均1人か、時にはそれ以下です。ヨーロッパは自らを殺し、移民が何らかの形で助けになると考えていますが、これらの移民は全員30歳未満の男性で、家族ではありません。ともかく、彼らとその幻想の中に生きている間に、我々は初めて、——いいですか？長年ぶりに、我々は初めてイスラムの出生率を上回ったのです。言い換えれば、ここイスラエルでは、ユダヤ人の母親たちは、ムスリムの母親よりも多くの子どもを産んでいる、ということです。想像できますか？彼らは、人口統計的に我々に惨事をもたらす、何年か後にはムスリムが人口の上で我々を上回る、などと言ってきましたが。全くのデタラメです。現在、アラブ人より多くのユダヤ人が生まれているのです。ところで、この3か月間のイスラエルの経済についていくつか言えば、我々の経済は4.3%成長しています。これは、世界で最高の経済、さらに全地域において失業率は最低です。そして我々は、私たちの赤ん坊を犠牲にはしません。別の言い方をすれば、自分たちのより良い生活のために、胎を閉じて、子どもを世に送り出さない、なんてことはしません。確かに、イスラエルでも中絶は行われています。確かに、西欧の全域でそれは行われています。それでも、イスラエルは大家族を支援しています。私自身も4人の子どもがいますし、イスラエル家庭では平均的です。イスラエルの家庭では、女性が大家族を望んでいます。実に素晴らしいことです。どうして、私たちがこんな恩恵を受けられるのだろう、と私は時々思うのです。しかし、攻撃の前には、物事が上手く行っていることは、私たちも分かっています。エゼキエルが、ロシアの侵略を伝えていることを、私たちは知っています。ゴグ、マゴグは、イスラエルが未だかつてないほどの最高の状態にあるのを見つけるのです。安全で安心しており、繁栄している。それが、現在の私たちの状態です。我々は、これまでになかった程に安全で、安心していて、繁栄しています。そして、もちろん、この先何が起こるのかを私たちは知っています。

だから、世界中にいる皆さん全員を励ましたいと思います。世界中、特に中東で起こっていることを見て、現実を認めましょう。中東でイスラエルは、聖書預言の中心で、それが全世界に影響を与えます。しかし中東と、イスラエルで現在起こっていることを見てください。私は、超ワクワクしています。私たちの体の贖いが確実に近づいていますから。ローマ人への手紙8章に書かれている、体の贖いは携挙です。私たちは既に贖われていますから。我々は、主によって贖われているのです。しかし、体、この体が、この世から取り去られるのです。私たちの体の贖いが、物凄く近づいている。とてもとても近づいています。私は、日付や時間、週や月は言いませんが、私は家で座って、ただ携挙を待ったりし



ません。私たちがここを出る時まで、競争を走り抜くのは、とても重要だと私は思うのです。ここを出る時、正式に競争が終わります。言っておきますが、パウロが活着している中で最大の心配事は、競争を無駄に走る事でした。これは、真つ当な事ですよ。考えてみてください。信者として人生を生きながら、全てが無駄だったとしたら悲劇ですよ。ガラテヤ人への手紙 2:2 には、こうあります。

2 それは啓示によって上ったのです。そして、異邦人の間で私の宣べている福音を、人々の前に示し、おもだった人々には個人的にそうしました。それは、私が力を尽くしていま走っていること、またすでに走ったことが、むだにならないためでした。

(ガラテヤ 2:2)

言い換えれば、公にしる、個人的にしる、福音を伝えず、無駄に走ることも出来る、ということ。それから、ピリピ人への手紙 2:16 にはこうあります

16 いのちのことばをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦勞したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることが出来ます。

(ピリピ 2:16)

私たちがここを出るまでに残された、ごくわずかな時間を無駄にせず、この競争を無駄に走ることのないように。だから私たちは、福音を宣べ伝え、いのちのことばをしっかりと握らなければなりません。そうすれば、キリストの日に誇ることが出来るのです。つまり、終わりの時、信者として人生を生きながら、御言葉、いのちのことばに浸からず、そして御言葉を世に伝えず、福音を伝えていないなら、実際に競争を無駄に走る事になるということ。パウロはそれを超恐れていたのです。彼は、この競争を無駄に走ることを物凄く恐れる、と言いました。だから、福音を宣べ伝え、いのちのことばを握りしめるのだ、と。ですから皆さん、どうか我々に残された、ごくわずかな時間の中で、いのちのことばを握りしめ、福音を伝えましょう。聖書には、福音を伝達するようにと書かれています。福音を伝達する、私はこの言葉が大好きです。時に、福音を伝達する、とは、街角に立って福音を叫ぶだけでなく、福音を反映した生き方をして、人々に見せるのです。ある人が言ったのは、「常に福音を宣べ伝え、必要であれば言葉を使え」つまり、私たちの人生が福音の証しであるべきだ、という事です。そして、必要な時だけ言葉を使う。素晴らしいと思いませんか？

ということで、現在の中東情勢は以上です。どうか、ニュースで和平協議について聞いても、驚かないでください。この和平協議は、パレスチナにとっては非常に悪いもので、我々イスラエルにとっては、これまでになかったような最高のものです。そして、高い可能性でパレスチナが拒否するでしょう。また、イランとロシア、トルコの悪の枢軸によって後

押しされ、彼らは、受け入れないようにと勧めるでしょう。それが当然、あの地域の暴力と緊張感をエスカレートさせます。さらに皆さんに伝えておきたいのは、トランプ大統領はパレスチナに、交渉の場につき、そして、隔週でイスラエルをハーグの国際司法裁判所に訴えるのを止めろ、と脅しました。そうでなければ、ワシントンにあるいわゆる“大使館”を閉鎖する、と言ったのです。彼らは、この全てに今、物凄く当惑しているのです。アメリカ合衆国の大統領が「道理の合わないことを止めろ。交渉の場に戻れ。」とパレスチナに言っているのです。

「本当に平和を求めるなら、本当に自分たちの民の利益を求めるなら、むやみに人を国際司法裁判所に引いて行き、訴えるのを止めろ。」

ただ座って、取引について語ろうじゃないか。あなたがたにも取引をさせる。あなたがたの必要なお金を与える。あなたがたに必要な生活を与える。あなたがたに繁栄を与える。そのためには、少し考え方を変える必要があるかもしれないが。

「ともかく、役に立たない古い手口はもうたくさんだ。」

彼は、彼らにこう言ったのです。私は、そのことに対して、彼を称賛しますよ。

とても興味深いのは、メディアの反応で、ヨーロッパでもメディアは非常にリベラルです。ただ、とても残念なのが、このバルカン地方でも、メディアはトランプを狂人のように刷り込んでいて、さらに彼の妻メラニア夫人までも、騙されやすい人間のように刷り込んでいるのです。昨日、彼女の出身地の人々と話をする機会があったのですが、彼らは彼女に対する同情心さえ見せないように、とても慎重になっていました。メディアは彼女の事を、とんでもない人間のように描いていますから。だから私は、イスラエル人として彼らに伝えたのです。彼らの地出身で、アメリカ合衆国の大統領夫人にまでなった人の事を、あなたがたは誇りに思うべきだ、と。それから、彼女は外見が美しいだけでなく、内面もとても美しい、と彼らに伝えました。現在、彼女がバイブルスタディーに出席していることも、彼らに伝えて、さらに、彼女が一度、集会で誰かが書いた原稿を読む代わりに、聖書の主の祈りを朗読することを選んだ時には、私は物凄く感動したことも伝えました。そのことで、彼女は世から罵られたのです。私が彼らに伝えたのは、メディアがいつも大統領と大統領夫人をとんでもない人間のように刷り込むのは、メディアが彼らを追い出したいため、だから彼女のために祈り、そして支えなければならない、と彼らに言いました。すると、彼らは涙を流していました。彼らは、それを聴く必要があったのです。彼らの町スロヴェニアで生まれた、アメリカ合衆国の大統領夫人は、本当はメディアが刷り込んでいるようなモンスターではない。私は、これを伝えられてとてもよかったですと思います。私は、リベラルなメディアに辟易しているからです。物事を切り取って編集する、彼らのやり方には、辟易しています。自分たちの策略通り、大統領を悪く見せようとするのが、彼らのやり方です。それから、私は自分がイスラエル人であることが、少し恥ずかしくなりました。アメリカ人より、少しは良く見えているはずなのに。ですから、どうかメディアは見

ないことをお勧めします。そうではなく、事実を見て、アメリカが向かおうとしている先、もしくは、まもなく落ち込もうとしている穴を悟るのです。ギリギリのところで、神のあわれみによって止められた、と私は思いますが、それでも国としては今でも、物凄く病んでいます。だから私たちは、地元の信者たちが福音を効果的に伝達できるよう、彼らの為にも祈らなければなりません。そしてもちろん、備えをし、忍耐と我慢をもって競争を走り抜くように。私たちの信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないように。

ビホールドイスラエルのミニストリーをご支援くださり、ありがとうございます。それから、私と私の家族のためにお祈りくださり、ありがとうございます。これから帰国して12月は、団体が国を訪れるだけでなく、家族で集まる時間もたくさんあります。息子アリエルの20歳の誕生日、その他たくさんのお祝いごとです。これから2ヶ月ほどの間、家にいられる時間がとても楽しみです。皆さんのお祈りとご支援に感謝します。God bless you all! どうか、ウェブサイトよりニュースレターをご登録ください。そうすれば、毎週木曜日か金曜日にニュースレターが届きます。それから、ユーチューブチャンネル「Behold Israel/ビホールドイスラエル」も登録してください。他のチャンネルを観ず、ビホールドイスラエルを観るようにしてください。どうか、ご注意ください。それから、インスタグラムは「beholdisrael」、フェイスブックは「Behold Israel」以上です。

ありがとうございます。God bless you!

クロアチアのザグレブより、シャローム。さようなら。

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>